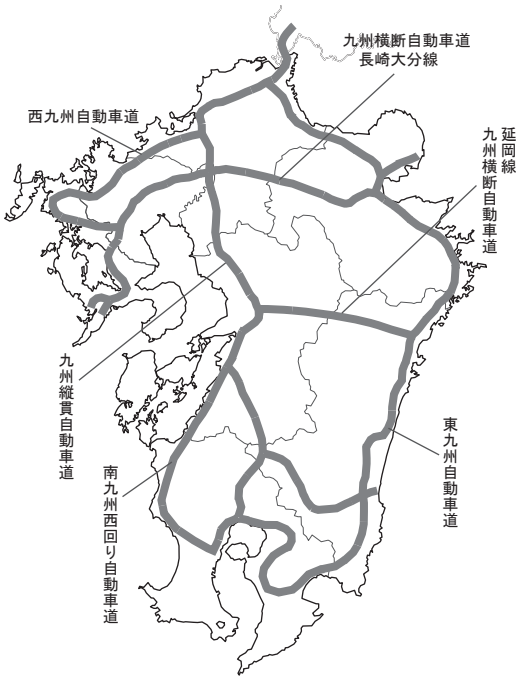
新空港の開港や路線開設、国際定期コンテナ船の就航など、九州の空港・港湾は国際化に向けた、ソフト・ハード両面の整備が進んでいます。これまでアジアへの近接性を十分に活かしきれていなかった九州ですが、空港・港湾におけるアジアとのネットワークや高速輸送体制の構築により、その潜在性を発揮しようとしています。一方、高速道路や九州新幹線の整備も進み、九州内の時間距離は大幅に短縮しています。これらの高速交通体系が整備されることにより、地域はどのような戦略図を描いていくのか、産業や都市機能など地域振興のあり方を提案します。

THEME 9

物流・ロジスティクス

DATA9 循環型ハイウェイ将来図



資料）九州経済連合会資料より

● 調査の具体的内容

１）国際・国内物流に関する調査
- 国際貨物や国内貨物の物流実態調査
- SCM、物流、産業立地など企業戦略や企業行動に関する現状分析
- 都市内交通に関する調査

２）高速道路や新幹線等高速交通網の整備に伴うインパクト調査
- 道路の開通に伴う経済波及効果の算出
- 時間短縮を組み入れた経済効果分析
- 九州新幹線の開通を睨んだ地域経済への影響分析

３）産業・交通インフラの利用促進に関する調査
- 港湾・空港・道路の稼働率向上に向けたニーズ調査
- 戦略的産業の振興に向けた都市機能プログラムの策定

● 調査のポイント
- 計量分析を用いた定量的な経済波及効果の算出
- 企業へのヒアリングやアンケートによるニーズの把握と交通インフラ活用に向けた戦略
- 高速道路、九州新幹線等交通インフラ開業後の地域経済への影響と産業や都市機能　導入についての提言

● これまでの実績
- 九州の国際物流拠点化に向けた調査研究（平成 18 年度：九州地域産業活性化センター）
- 中津日田道路経済効果調査（平成 18 年度：大分県）
- 新北九州市物流拠点都市づくり基本方針案作成業務（平成 17 年度：北九州市）
- 環黄海地域限定版 FTA 形成に向けた物流システム調査（平成 16、17 年度：北九州市）
- 高速道路整備による効果事例調査業務（平成 16 年度：日本道路公団九州支社）
- 九州における高速道路ネットワークの整備効果調査（平成 16 年度：九州・山口経済連合会）